

2022 年 6 月 30 日
フィデアホールディングス株式会社

お客さま本位の業務運営方針に基づく具体的な取組状況について

フィデアホールディングス株式会社（代表執行役社長 田尾 祐一）は、フィデアグループの株式会社
荘内銀行（取締役頭取 松田 正彦）及び株式会社北都銀行（取締役頭取 伊藤 新）は、
2017 年 6 月に公表しました「お客さま本位の業務運営方針」に基づく具体的な取組状況や成果指標につ
いて、2021 年度における取組状況及び成果指標の推移を取りまとめましたので、別紙の通り公表いたします。

フィデアグループは、お客さまの安定的な資産形成に貢献するため、今後もお客さま本位の業務運営を確
実に実施すべく、定期的な取組状況を検証するとともに、適切な情報の分かりやすい提供に努めてまいります。

以上

お問い合わせ先（報道機関窓口）IR グループ 大石（TEL022-290-8800）

「お客さま本位の業務運営方針」に係る
取組状況および成果指標について

2022 年 6 月 30 日

 **FIDEA** フィデアホールディングス株式会社

 荘内銀行

 北都銀行

お客さま本位の業務運営方針

フィデアグループは、お客さまの安定的な資産形成および運用に資する金融サービスの提供を実現するため、お客さま本位の業務運営方針（以下、「本方針」といいます。）を定め、実践してまいります。

当グループは、お客さまが金融サービスの最終受益者であることを踏まえ、地域に密着した「広域金融グループ」としてお客さまの立場に立った商品・サービス等を提供すると共に価値ある情報を分かりやすく提供することを通して、地域のお客さまと共に育ち、共に発展していくことに努めます。

また、本方針に基づく「取組方針」および「成果指標」を定期的に取りまとめ、お客さまに分かりやすく確認いただけるよう公表し、内容については、定期的に見直します。

※対象となるグループ会社：株式会社荘内銀行、株式会社北都銀行

■ お客さまの利益の追求

お客さまへの最適な商品・サービスの提供が、お客さまとの継続的な取引や地域のお客さまの生活の質の向上につながるとの企業文化の定着に努めます。

お客さまの利益を最優先に追求するため、高い専門性と職業倫理に基づき、コンサルティング機能の強化やアフターフォローを通じて、お客さまの個別ニーズにあった最適な商品・サービスの販売・推奨等を行います。

■ お客さまにふさわしいサービスの提供

お客さまニーズを的確にとらえ、商品の特性やリスクを踏まえ、販売対象のお客さま属性を想定し、取扱商品のラインナップの充実と商品選定を行います。

お客さまへのヒアリングを十分に行い、お客さまの資産状況や金融知識・投資経験を踏まえ、ご意向やライフプラン等に基づいた適切な商品・サービスの販売・推奨等を行います。

販売対象のお客さまとしてふさわしくないと判断した場合、ご提案を控えさせていただきます。

商品・サービスの販売後においても、経済環境の変化や提供した商品の運用状況についての説明など、お客さまの属性に応じた、適切かつ分かりやすいアフターフォローを行います。

■ 重要な情報の分かりやすい提供

お客さまのご意向・金融知識・投資経験・資産状況や取引目的等を十分に把握した上で、提供する商品・サービスに応じて、商品の特性やリスクを踏まえ、適切かつ分かりやすい情報提供を行います。

お客さまにご負担いただく手数料等について、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、より分かりやすい説明資料の充実、販売者の説明スキルの向上を図ります。

お客さまに正しくご理解いただけるよう、明確かつ平易に誠実な情報提供を行うと共に、提供する商品・サービスの選定理由についても丁寧に説明を行います。

金融知識・投資経験の浅いお客さまやご高齢のお客さまへの説明は、より丁寧にを行います。特にご高齢のお客さまに対しては、ご家族を含めてご理解をいただけるよう説明を行います。

■ 利益相反の適切な管理

お客さまとの間の利益相反のおそれのある取引に伴い、お客さまの利益を不当に害することのないよう、法令等および利益相反管理に関する社内規則等に従って、適切に業務を管理・遂行してまいります。

■ 社内体制・社員教育の充実

グループ内において本方針の浸透に努めるとともに、役職員に対する研修・教育の充実を通して、お客さま本位の業務運営をより一層推進してまいります。

お客さま本位の業務運営を推進するための業績評価体系の構築と役職員の適切な評価に努めてまいります。

2017年6月 制定

2021年6月 改訂

お客さま本位の業務運営方針に係る取組状況および成果指標について

フィデアグループ※は、金融庁が2017年3月（2021年1月改訂）に公表した国民の安定的な資産形成の実現に向けた「顧客本位の業務運営に関する原則（以下、FD原則）」を採択し、本原則に基づき、「お客さま本位の業務運営方針（以下、FD方針）」を定め、実践しております。

また、本方針に基づく「取組方針」および成果指標（KPI）をお客さまに分かりやすくご確認いただけるよう定期的な公表を行い、企業文化として定着を図ってまいります。

※対象となるグループ会社：株式会社荘内銀行、株式会社北都銀行

「顧客本位の業務運営に関する原則」に基づく「お客さま本位の業務運営方針」の採択状況

お客さま本位の業務運営方針	該当する顧客本位の業務運営に関する原則
1. お客さまの利益の追求	【2】顧客の最善の利益の追求 付されている(注)を含みます。
2. お客さまにふさわしいサービスの提供	【6】顧客にふさわしいサービスの提供 付されている(注1～5)※1、※2を含みます。
3. 重要な情報の分かりやすい提供	【4】手数料等の明確化 【5】重要な情報の分かりやすい提供 付されている(注1～5)※1を含みます。
4. 利益相反の適切な管理	【3】利益相反の適切な管理 付されている(注)※3を含みます。
5. 社内体制・社員教育の充実	【7】従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 付されている(注)を含みます。

※1 ファンドラップ等の複数の金融商品・サービスをパッケージとして取扱う商品・サービスは、2022年3月末時点ではございません。

※2 金融商品の組成に携わるグループ会社は、2022年3月末時点ではございません。

※3 同一グループ内に商品を提供する証券子会社等を有していないため、2022年3月末時点ではございません。

「お客さま本位の業務運営方針」に基づく成果指標の公表

具体的な「取組方針」および「成果指標」は以下の通りです。取組方針に基づく成果指標については、継続的に推移を確認し、「お客さま本位の業務運営」の取組みに活用してまいります。

具体的な成果指標	掲載ページ
1. 共通成果指標(KPI)	
(1) 投資信託	
① 運用損益別お客さま比率	p.4
② 預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン	p.6
③ 預かり資産残高上位 20 銘柄のリスク・リターン	p.7
(2) 外貨建保険	
① 運用評価別お客さま比率	p.5
② 銘柄別コスト・リターン	p.9
2. 自主成果指標(KPI)	
(1) 投資信託	
① 預かり資産残高	p.10
② 投資信託の取引口座数	p.10
③ 積立投資信託の取引状況	p.11
④ 投資信託販売に占める毎月分配型の割合	p.11
⑤ FP(ファイナンシャルプランナー)資格の取得状況	p.16

1. お客さまの利益の追求

取組方針（アクションプラン）

- お客さまと継続的なお取引や地域のお客さまの生活の質の向上のため、最適な金融商品・サービスのご提案を行います。
- お客さまのライフプランやライフステージにおけるイベント等を金融商品及びサービスでご支援します。
- お客さまの金融商品・サービスに対するお考えやご意向を伺い、ご投資経験やご資産の状況を十分に確認いたします。
- お客さまからの確認内容に基づき、担当者及びフィデアグループの幅広い知見とアイデアを提供し、最適なコンサルティングの実践に努めます。
- お客さまの適合性の原則に基づく、利益を最優先に追求するため、高い専門性と職業倫理をもって、金融商品・サービスの提供を行います。
- お客さまと継続的なお取引のため、コンサルティングやアフターフォローを通じて、資産形成や資産運用をサポートいたします。

比較可能な共通成果指標の公表

- 金融庁が定義する販売会社が取扱う投資信託及び外貨建保険に関する比較可能な共通 KPI を以下の定義に基づき公表いたします。

運用損益別お客さま比率

- 運用損益をお客さま単位で集計し損益状況を取りまとめた成果指標です。
- お客さま単位の運用損益は、基準日時点での損益状況のため、解約済みの運用については含まれません。

(1) 投資信託の運用損益別お客さま比率

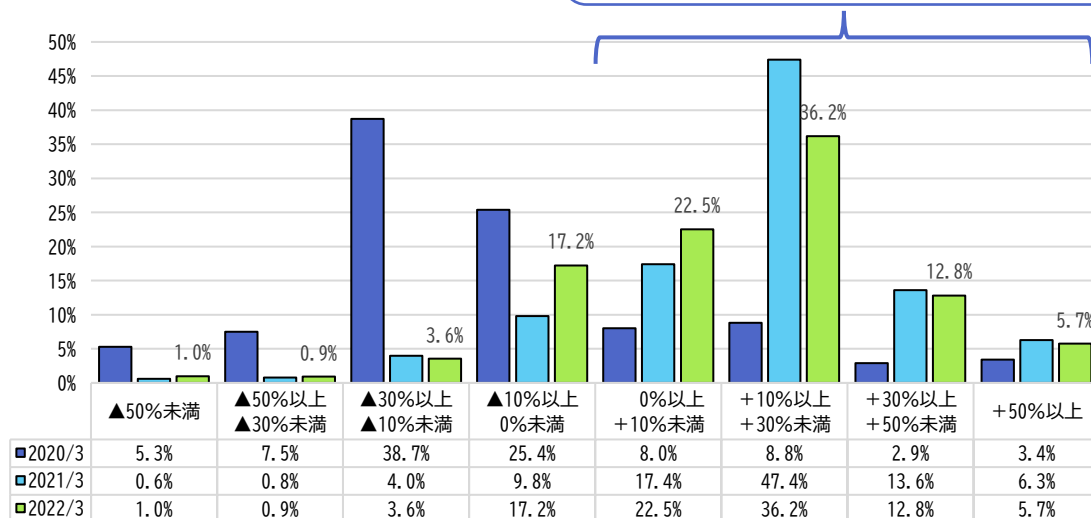
- 投資信託を取り巻く環境は、昨年までの緩和的な金融環境から世界各国の中央銀行が利上げ局面に進んだことにより、投資対象を株式とする銘柄を中心に基準価額が下落傾向にあります。
- 投資信託の運用損益別お客さま比率は、基準価額が下落を受けて、運用損益がプラスのお客さまの比率が前年対比、低下しています。

〔参考〕投資信託の成果指標定義

項目名			算出方法
運用損益別	対象のお客さま		基準日時点で投資信託を保有している個人のお客さま
	対象のお取引		自社の投資信託口座によるお取引
	対象の商品		基準日時点で対象のお客さまが保有している投資信託（公社債投信、私募投信を除く）
	運用損益の 計算方法	全体	投資信託のそれぞれについて運用損益を算出
		分子	基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売付金額－累計買付金額（税込販売手数料を含む） ※基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
		分母	基準日時点の評価金額
		遡及期間	当該購入銘柄の当初まで遡及
預かり残高上位 20 銘柄の コスト・リターン	対象銘柄		預かり資産残高上位 20 銘柄（設定後 5 年以上） ※公社債投信、私募投信等は除き、単位型は含む
	コスト	全体	基準日時点の販売手数料（税込）の 5 分の 1 と信託報酬率（税込）の合計値
		販売手数料率	目論見書の上限ではなく、最低販売額での最も高い料率
		信託報酬率	目論見書上の実質的な信託報酬率の上限値（その他費用・手数料を除く）
	リターン		過去 5 年間のトータルリターン（年率換算） ※騰落率算出に用いる基準価額は、分配金再投資後（税引前）の基準価額
預かり残高上位 20 銘柄の リスク・リターン	対象の銘柄		預かり資産残高上位 20 銘柄（設定後 5 年以上） ※公社債投信、私募投信等は除き、単位型は含む
	リスク		過去 5 年間の月次リターンの標準偏差（年率換算） ※騰落率算出に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額
	リターン		過去 5 年間のトータルリターン（年率換算） ※騰落率算出に用いる基準価額は、分配金再投資後（税引前）の基準価額

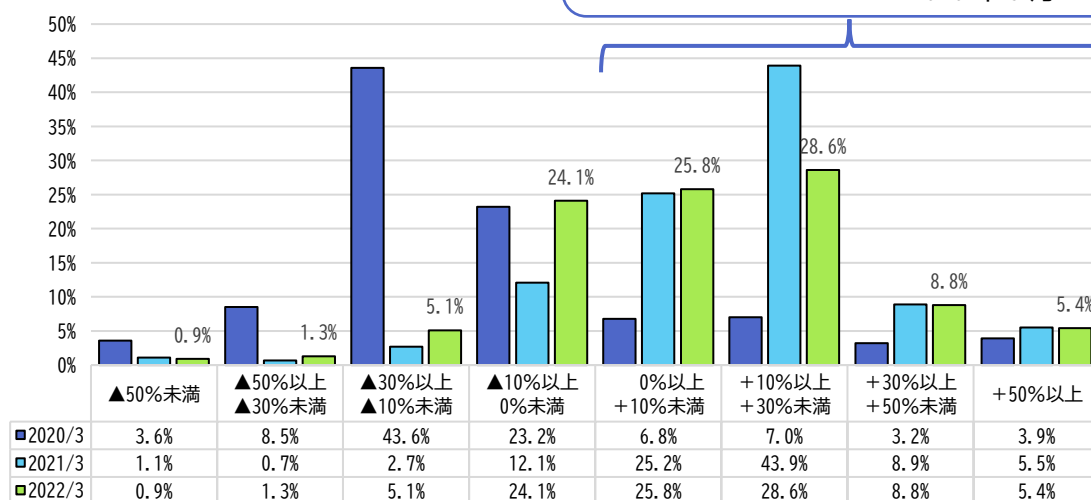
① 荘内銀行の運用損益別お客さま比率

2022年3月：77.3%
運用損益プラスの比率
2021年3月：84.7%
2020年3月：23.1%



② 北都銀行の運用損益別お客さま比率

2022年3月：68.6%
運用損益プラスの比率
2021年3月：83.5%
2020年3月：21.0%



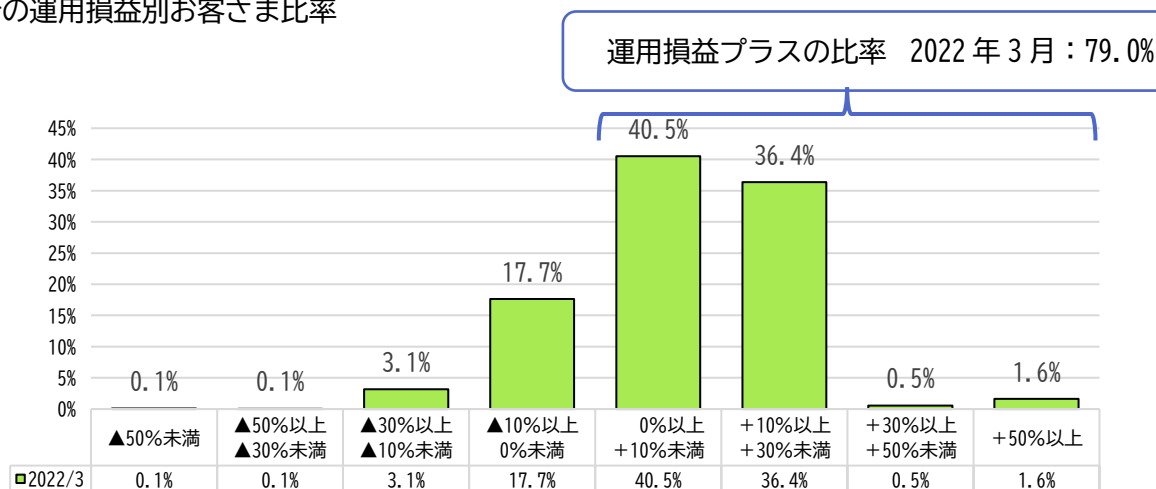
(2) 外貨建一時払保険の運用損益別お客さま比率

- 外貨建一時払保険を取り巻く環境は、昨年までの緩和的な金融環境から世界各国の中央銀行が利上げに進んだ一方で、日本銀行が緩和姿勢を維持したことの影響もあり、外貨建保険の円換算時の評価が上昇傾向にあります。
- 外貨建一時払保険の運用損益別お客さま比率は、70%を超える一方で、目標設定型の保険商品が設定値で利益確定を行うため、投資信託と異なり大幅な超過収益を確保するお客さまが少ない特徴があります。

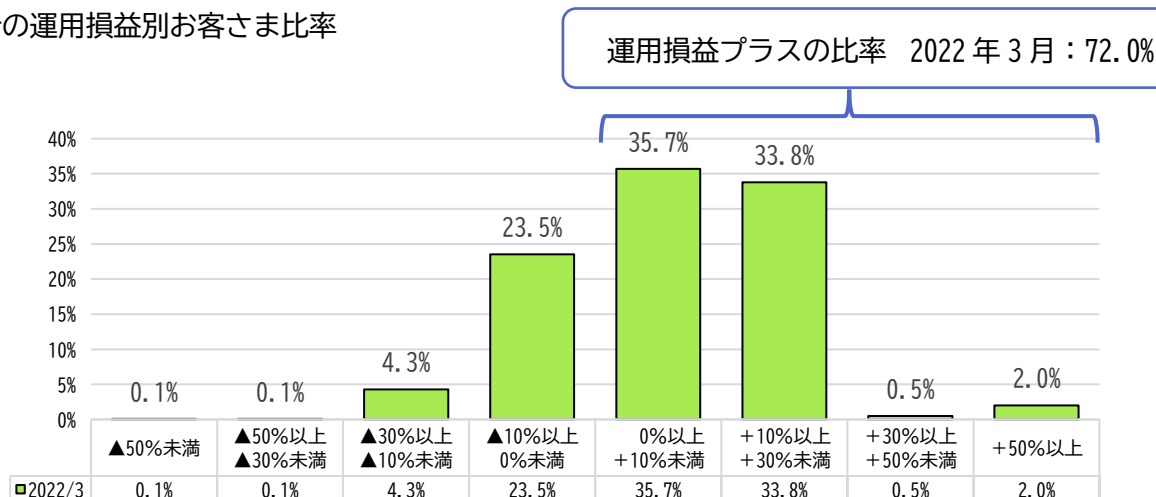
〔参考〕外貨建保険の成果指標定義

項目名		算出方法
運用損益別	対象顧客	基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま
	対象取引	銀行が保険募集を行った契約で基準日時点で有効な契約（解約済みの契約、年金が支払い開始している年金契約（据置期間の契約を含む）を除く）
	対象商品	基準日時点で対象のお客さまが保有している外貨建一時払保険（外貨建医療保険、外貨建平準払保険及び介護保険や特定疾病保障等、生前給付の保障が組込まれた商品を除く）
	運用評価の 計算方法	分子 (基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額)－契約時点の一時払保険料（円換算） 分母 解約返戻金額について、時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整を反映する。 既支払金を外貨で支払った場合に使用する為替レートは各社が定める手法を適用。
預かり残高上位 20 銘柄の コスト・リターン	対象契約	銀行が保険募集を行った基準日時点で契約期間が60か月以上経過している有効契約（解約済みの契約、年金支払が開始している年金契約（据置期間も含む）を除く）
	対象銘柄	外貨建一時払保険のうち、保険の契約期間が60か月以上経過した契約が存在する商品 基準日時点での解約返戻金額＋既支払金額の合計が多い上位 20 商品が対象 (外貨建医療保険、外貨建平準払保険を除く)
	コスト	販売会社が受取る契約時手数料の契約期間で除した数値と継続手数料を期間に応じて加重平均し、累積し年換算
	リターン	リターンの値は、基準日時点での解約返戻金額＋既支払金額を－契約時点の一時払い保険料で除したものを年率換算。各契約のリターンを加重平均する。 (時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整を反映する。)

① 荘内銀行の運用損益別お客さま比率

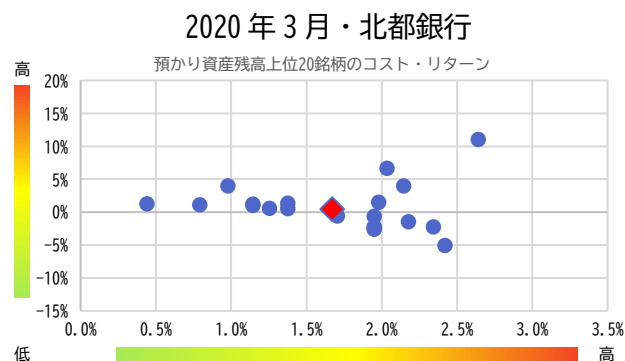
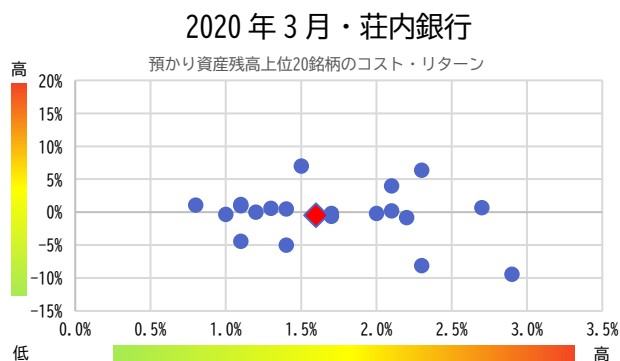
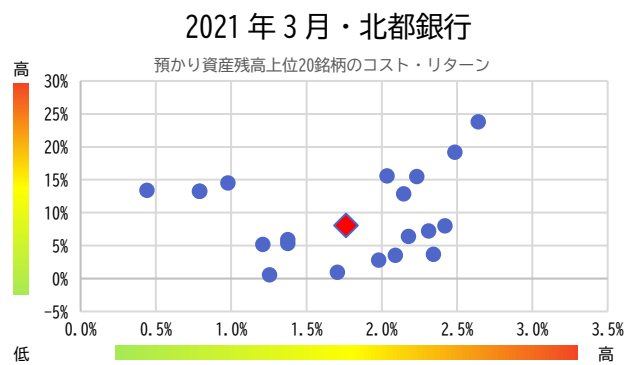
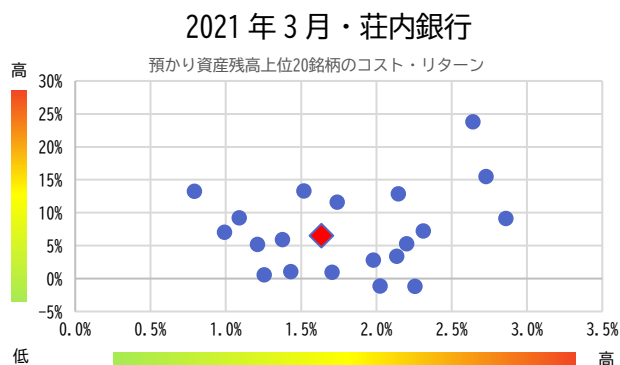
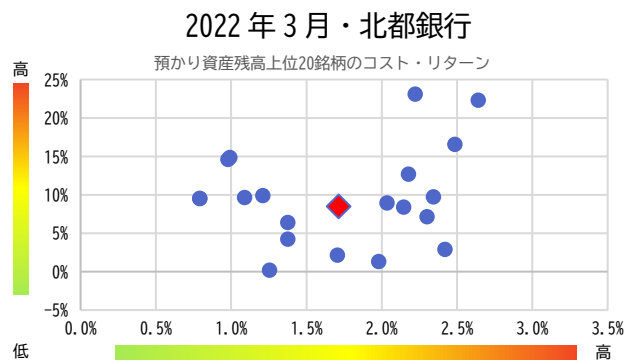
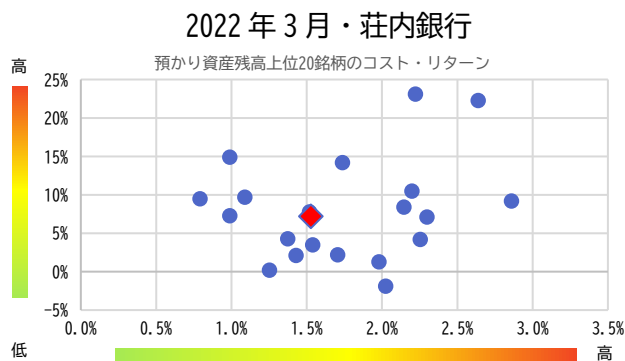


② 北都銀行の運用損益別お客さま比率



(3) 投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

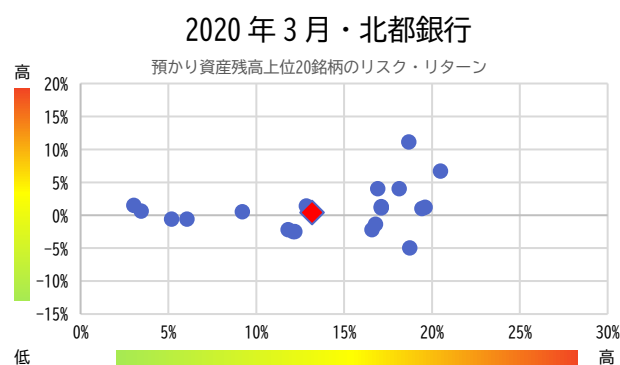
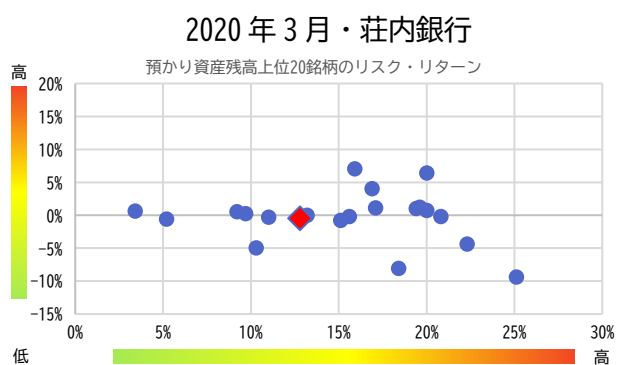
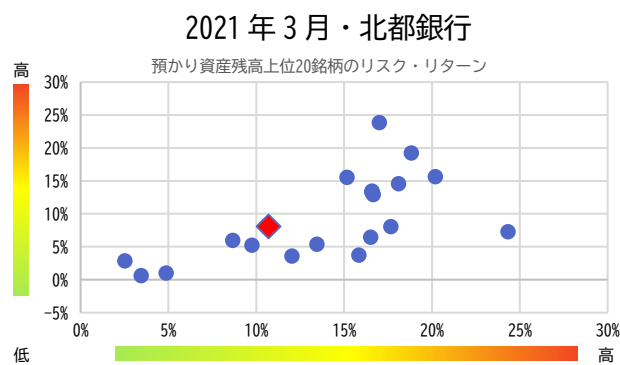
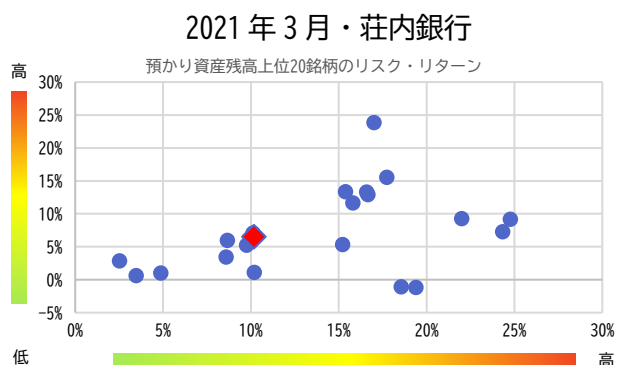
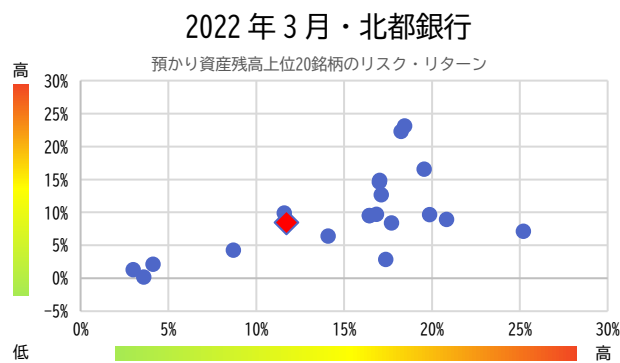
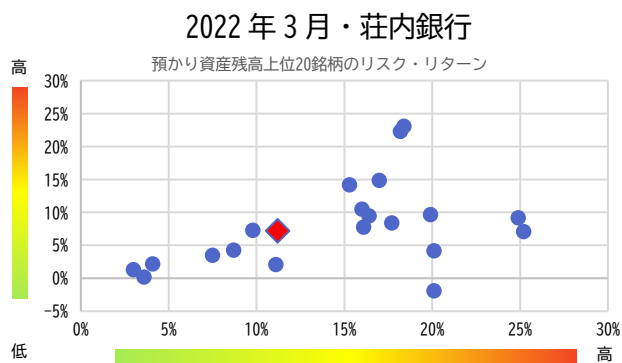
- 残高加重平均値のコストはインデックス運用銘柄が残高上位になったことで、全体コストを引き下げています。
- 残高加重平均値のリターンは、前年度マイナスリターンとなっていたリートのプラス転換したことなどにより、改善しています。
- コスト上昇とリターン向上の関係が改善傾向にある高コスト・低リターンの商品が減少し、散布図が右肩上がりの分散に変化・改善傾向にあります。



※グラフの縦軸：リターン、横軸：コスト

(4) 投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

- 2022 年 3 月基準のリスク・リターンは、下半期のマーケット変動の影響を受け、リスクは若干の上昇をしたものの、リターンは改善傾向が続いています。
- 残高加重平均値のリターンは、前年度マイナスリターンとなっていたリートのプラス転換したことなどにより、改善しています。



※グラフの縦軸：リターン、横軸：リスク

お客さま本位の業務運営方針に係る取組状況および成果指標について

[参考]過去3か年 投資信託の預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスク

2022年3月・荘内銀行

2022年3月・北都銀行

ファンド名	コスト	リターン	リスク	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	4.26%	8.69%	1 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	4.26%	8.69%
2 インデックスファンド225	0.79%	9.51%	16.44%	2 新光US-REITオープン（ゼウス）	2.34%	9.74%	16.83%
3 ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	4.24%	20.07%	3 アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	2.89%	17.37%
4 投資のソムリエ	1.98%	1.32%	2.99%	4 日興インデックスファンド225	0.79%	9.51%	16.44%
5 世界経済インデックスファンド	0.99%	7.34%	9.82%	5 netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.64%	22.31%	18.24%
6 トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	9.66%	19.86%	6 投資のソムリエ	1.98%	1.32%	2.99%
7 netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.64%	22.31%	18.24%	7 ダイワ・グローバルREIT・オープン（毎月分配型）（世界の）	2.18%	12.69%	17.12%
8 グローバル好配当株オープン	1.74%	14.19%	15.26%	8 SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.98%	14.63%	17.00%
9 短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	1.43%	2.13%	11.08%	9 Jリートファンド	1.38%	6.42%	14.08%
10 東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25%	0.21%	3.60%	10 MUAMインデックスファンド225	0.79%	9.51%	16.43%
11 ひふみプラス	1.52%	7.83%	16.07%	11 オーストラリア株式ファンド	2.30%	7.14%	25.19%
12 三菱UFJ NASDAQオープン Bコース	2.22%	23.13%	18.44%	12 三菱UFJ NASDAQオープンBコース（為替ヘッジなし）	2.22%	23.13%	18.44%
13 HSBCインドオープン	2.86%	9.23%	24.86%	13 トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	9.66%	19.86%
14 ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.02%	-1.93%	20.09%	14 女性活躍応援ファンド（椿）	2.04%	8.94%	20.83%
15 ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	10.53%	15.99%	15 グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	2.16%	4.12%
16 ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	1.54%	3.53%	7.51%	16 東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	1.25%	0.21%	3.60%
17 オーストラリア株式ファンド	2.30%	7.14%	25.19%	17 グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.49%	16.57%	19.54%
18 SMTダウ・ジョーンズインデックス・オープン	0.99%	14.90%	17.01%	18 SMTグローバル株式インデックス・オープン	0.99%	14.88%	17.01%
19 グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	2.16%	4.12%	19 三菱UFJ純金ファンド	1.21%	9.92%	11.58%
20 ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	8.41%	17.69%	20 ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	8.41%	17.69%
残高加重平均値	1.53%	7.18%	11.20%	残高加重平均値	1.71%	8.46%	11.72%

2021年3月・荘内銀行

2021年3月・北都銀行

ファンド名	コスト	リターン	リスク	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	5.95%	8.66%	1 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	5.95%	8.66%
2 ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	-1.18%	19.38%	2 アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	8.03%	17.65%
3 インデックスファンド225	0.79%	13.25%	16.58%	3 投資のソムリエ	1.98%	2.82%	2.52%
4 投資のソムリエ	1.98%	2.82%	2.52%	4 新光US-REITオープン（ゼウス）	2.34%	3.70%	15.83%
5 東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25%	0.59%	3.46%	5 Jリートファンド	1.38%	5.36%	13.44%
6 短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	1.43%	1.07%	10.18%	6 ダイワ・グローバルREIT・オープン（毎月分配型）（世界の）	2.18%	6.43%	16.50%
7 グローバル好配当株オープン	1.74%	11.63%	15.80%	7 女性活躍応援ファンド（椿）	2.04%	15.60%	20.20%
8 netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.64%	23.83%	17.00%	8 netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.64%	23.83%	17.00%
9 ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	2.13%	3.42%	8.59%	9 インデックスファンド225	0.79%	13.27%	16.58%
10 世界経済インデックスファンド	0.99%	7.05%	10.12%	10 オーストラリア株式ファンド	2.31%	7.24%	24.32%
11 トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	9.24%	22.00%	11 東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	1.25%	0.58%	3.45%
12 HSBCインドオープン	2.86%	9.12%	24.77%	12 SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.98%	14.55%	18.09%
13 ひふみプラス	1.52%	13.32%	15.38%	13 三菱UFJ純金ファンド	1.21%	5.21%	9.75%
14 ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.02%	-1.13%	18.55%	14 グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	0.97%	4.86%
15 ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	5.32%	15.21%	15 eMAXIS日経225インデックス	0.44%	13.42%	16.58%
16 グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	0.97%	4.86%	16 GS日本フォーカス・グロース 年2回決算コース	2.23%	15.50%	15.16%
17 シューダーBRICS株式ファンド	2.73%	15.51%	17.72%	17 グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジなし・1年）	2.49%	19.21%	18.82%
18 ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	12.91%	16.66%	18 ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	12.91%	16.66%
19 三菱UFJ 純金ファンド	1.21%	5.21%	9.75%	19 インデックスファンド225	0.79%	13.25%	16.58%
20 オーストラリア株式ファンド	2.31%	7.24%	24.32%	20 グローバル3資産ファンド（ワンプレートランチ）	2.09%	3.57%	12.03%
残高加重平均値	1.64%	6.48%	10.19%	残高加重平均値	1.76%	8.04%	10.70%

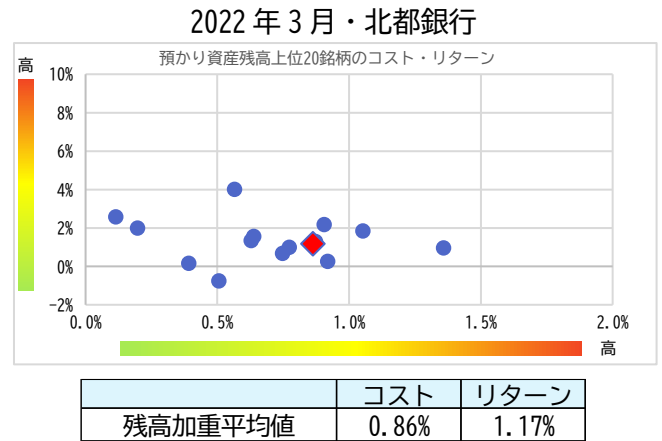
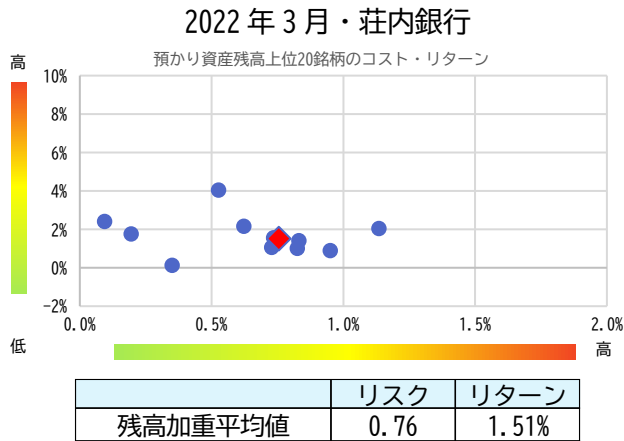
2020年3月・荘内銀行

2020年3月・北都銀行

ファンド名	コスト	リターン	リスク	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	0.54%	9.21%	1 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	0.54%	9.21%
2 インデックスファンド225	0.79%	1.13%	17.10%	2 アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	-5.02%	18.73%
3 ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	-8.10%	18.40%	3 グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	1.14%	1.03%	19.43%
4 グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	1.14%	1.03%	19.43%	4 MUAMインデックスファンド225	0.79%	1.15%	17.10%
5 東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25%	0.62%	3.44%	5 新光US-REITオープン（ゼウス）	2.34%	-2.24%	16.59%
6 ひふみプラス	1.52%	6.98%	15.86%	6 女性活躍応援ファンド（椿）	2.04%	6.68%	20.49%
7 短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	1.43%	-4.96%	10.27%	7 ダイワ・グローバルREIT・オープン（毎月分配型）（世界の）	2.18%	-1.44%	16.79%
8 ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	2.13%	0.21%	9.68%	8 Jリートファンド	1.38%	1.40%	12.85%
9 グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	1.14%	1.23%	19.61%	9 グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	1.14%	1.23%	19.61%
10 グローバル好配当株オープン	1.74%	-0.20%	15.56%	10 投資のソムリエ	1.98%	1.52%	3.02%
11 ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.02%	-0.19%	20.78%	11 あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2018-10	1.95%	-2.15%	11.82%
12 トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	-4.40%	22.31%	12 東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	1.25%	0.62%	3.44%
13 世界経済インデックスファンド	0.99%	-0.27%	11.01%	13 グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	-0.56%	5.19%
14 グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	-0.56%	5.19%	14 あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-01	1.95%	-2.55%	12.19%
15 HSBCインドオープン	2.86%	-9.42%	25.07%	15 SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.98%	3.99%	18.13%
16 ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	-0.81%	15.08%	16 あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加）2020-01	1.95%	-0.64%	6.05%
17 MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.16%	0.04%	13.24%	17 ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	4.01%	16.91%
18 シューダーBRICS株式ファンド	2.73%	0.66%	19.96%	18 netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.64%	11.06%	18.68%
19 ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	4.01%	16.91%	19 eMAXIS日経225インデックス	0.44%	1.27%	17.10%
20 日本新興株オープン	2.33%	6.43%	20.00%	20 あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-04	1.95%	-2.50%	12.10%
残高加重平均値	1.55%	-0.52%	12.78%	残高加重平均値	1.67%	0.42%	13.19%

(5) 外貨建保険の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

- 2022 年 3 月基準のリスク・リターンは、下半期のマーケット変動の影響を受け、リスクは若干の上昇をしたものの、リターンは改善傾向が続いています。
- 残高加重平均値のリターンは、前年度マイナスリターンとなっていたリートのプラス転換したことなどにより、改善しています。



※グラフの縦軸：リターン、横軸：リスク

[参考]外貨建保険の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン・リスク

2022 年 3 月・荘内銀行

2022 年 3 月・北都銀行

2022 年 3 月・荘内銀行				2022 年 3 月・北都銀行			
	ファンド名	コスト	リターン		ファンド名	コスト	リターン
1	ロングドリームGOLD	0.83%	1.41%	1	しあわせ、ずっと	0.75%	0.68%
2	しあわせ、ずっと	0.82%	1.01%	2	サニーガーデン	0.64%	1.56%
3	サニーガーデンEX	0.62%	2.16%	3	定付変額終身保険	1.36%	0.95%
4	サニーガーデン	0.74%	1.56%	4	サニーガーデンEX	0.91%	2.17%
5	ビーウィズユー（豪ドル建）	0.73%	1.06%	5	しあわせ、ずっとNZ	0.92%	0.26%
6	ビーウィズユー（USドル建）	0.53%	4.06%	6	ロングドリームプラス	0.63%	1.35%
7	三大陸	0.35%	0.14%	7	ロングドリームGOLD	0.87%	1.29%
8	ビーウィズユープラス	1.14%	2.05%	8	三大陸	0.39%	0.17%
9	シリウスハーモニー	0.20%	1.77%	9	やさしさ、つなぐ	0.51%	-0.76%
10	しあわせ、ずっとNZ	0.95%	0.91%	10	ビーウィズユー（豪ドル建）	0.77%	0.99%
11	シリウスデュアル	0.09%	2.42%	11	ビーウィズユー（USドル建）	0.56%	4.00%
12				12	シリウスデュアル	0.11%	2.58%
13				13	ビーウィズユープラス	1.05%	1.85%
14				14	シリウスハーモニー	0.20%	1.99%
15				15			
残高加重平均値		0.76%	1.51%	残高加重平均値		0.86%	1.17%

2. お客さまにふさわしいサービス提供

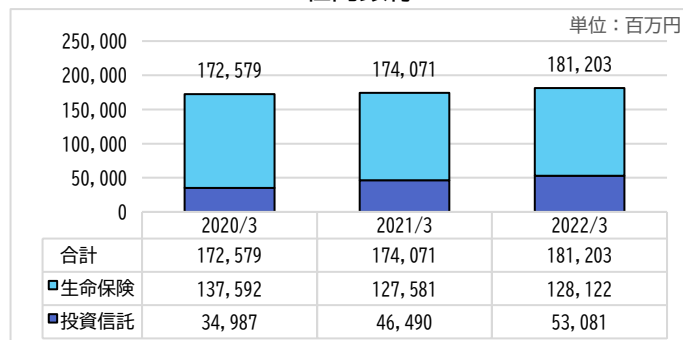
取組方針(アクションプラン)

- お客さまにふさわしい金融商品やサービスをご提供するため、お客さまのライフスタイルに最適なお取引方法やコンサルティング・ツールの充実に努めます。
- お客さまとの対話を通じて、金融商品やサービスに対するご希望やお考えなどのニーズの把握に努め、お客さまのライフプランやライフステージに役立つ金融商品やサービスを通じてご提供します。
- お客さまの年代により異なるニーズに対応した、投資信託、生命保険、金融商品仲介の商品ラインナップの中から最適な金融商品について、お客さまにふさわしい理由をご説明します。
- お客さまの非対面でのお取引ニーズに対応するため、インターネットサービスの充実に図り、投資信託の口座開設、インターネット投信の利用開始手続き、投資するファンドを選択のためのロボ・アドバイザーサービス等をご提供しています。
- お客さまの資産形成をサポートするため、積立による長期・積立・分散投資の啓蒙及び提案を行い、投資を行うお客さまの裾野拡大に努めます。

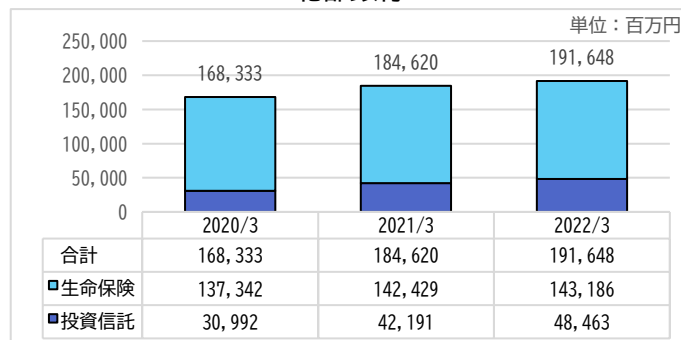
(1) 預かり資産残高

- お客さまのお預かりしている資産の成長をサポートする商品ラインナップの充実に努めております。
- お客さまへの金融商品やサービスのご提供にあたっては、長期保有、時間及び投資対象の分散を前提にご投資目的に適したご提案に努めております。
- お客さまからお預かりしている投資信託と生命保険の残高は、お取引の拡大及び資産成長の効果により、増加傾向にあります。

荘内銀行



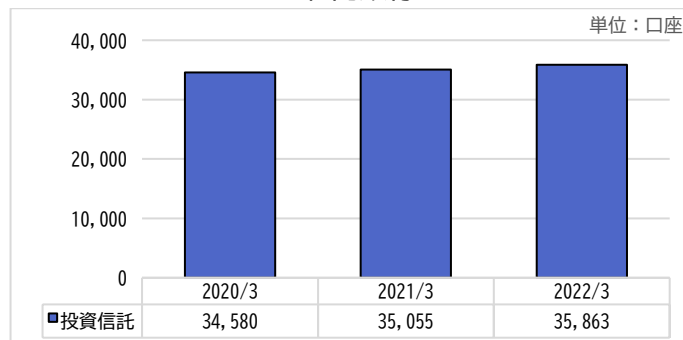
北都銀行



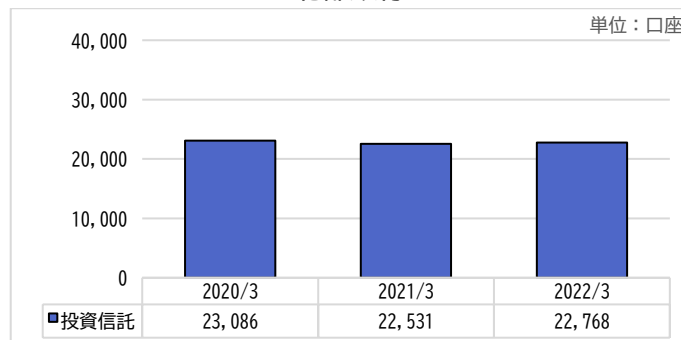
(2) 投資信託の取引口座数

- お客さまの資産形成及び資産運用をサポートするための基となる投資信託の取引口座は、開設数が増加しています。
- 投資信託のお取引にはご来店不要のインターネットサービス、投信ダイレクト（インターネット投信）のご利用がいただくことにより、日頃お忙しいお客さまでも、いつでも、どこでもお取引をいただけます。
- 投信ダイレクトのご契約がないお客さまには、投資信託の取引口座開設やインターネット投信ご利用のためのお手続きが可能なサービスがご利用いただけます。

荘内銀行

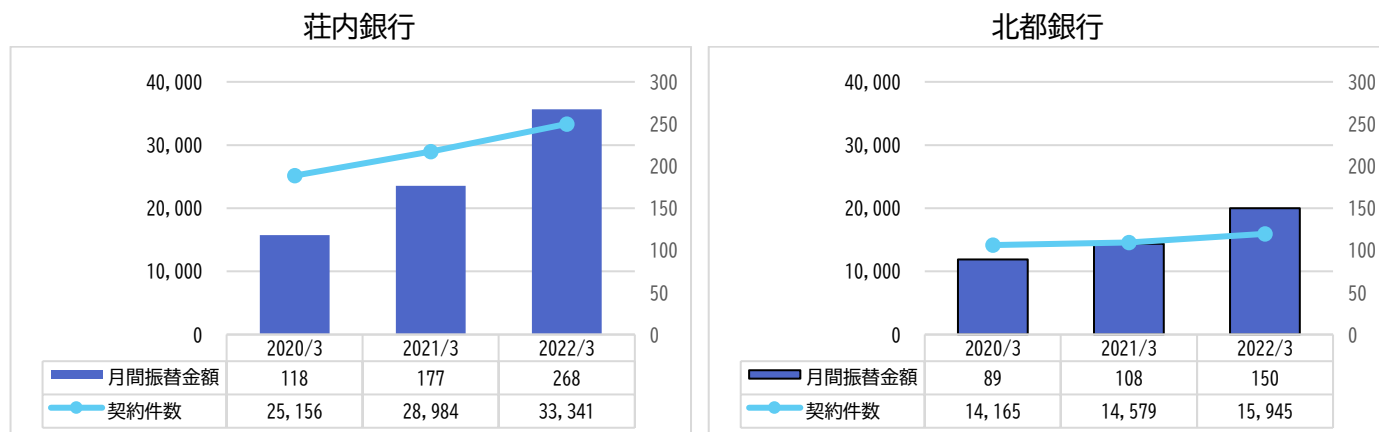


北都銀行



(3) 積立投資信託の取引状況

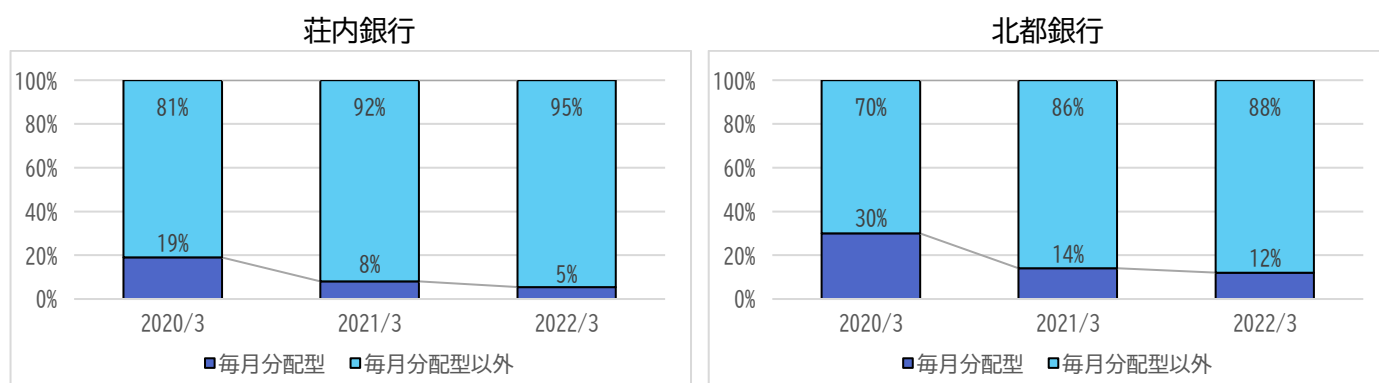
- ・積立投資信託は、長期・積立・分散の投資を可能とする投資方法で、資産形成を目指すお客さまに対し積極的にご提案しております。
- ・お客さまの資産形成をサポートするため、積立可能な投資信託のラインナップの充実と、購入時手数料が無料となるノーロード商品の多数取扱っております。
- ・お客さまの資産形成ニーズの高まりから、積立投資信託のご契約件数及び毎月の振替ご購入金額は順調に増加しております。



※積立投資信託のお取引状況の数値は、各年度1年間の振替件数および振替ご購入金額をもとに1か月あたり平均件数及び平均振替ご購入金額を算出しております。

(4) 投資信託の販売に占める毎月分配型の割合

- ・毎月分配型投資信託の販売に占める割合は、その中心であった債券ファンド等の利回り低下傾向にあったこと、販売の中心が米国株式等の投資信託に移行したことにより、低下しています。
- ・毎月分配型投資信託についてもインカム収益を受け取るニーズは一定程度あることから、毎月分配型の仕組みを十分な説明を行い、お客さまの資産活用ニーズに対応しております。



※投資信託の販売額を毎月分配型と毎月分配型以外に分類し算出しております。

[ご参考①] 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプト）

- ・お客さまの投資目的やリスク許容度等に応じ、お客さまに適切な商品をご選択いただけるよう、幅広くかつ充実した商品ラインナップを整備に努めております。
- ・商品の選定にあたっては、投資運用会社や保険会社等から多くの商品や様々なアイデアを募り、外部評価機関の評価も参考にしながら、長期分散投資を前提とした資産形成に資する商品・サービスを選定しております。
- ・取扱商品は、中長期的な成長期待を鑑み、特定の商品カテゴリーや投資対象に偏ることがないラインナップの提供を行うため、適宜見直しを実施しております。
- ・当行は、お客さまの資産形成や資産活用のご希望やお考え、ライフプランやライフステージに則した、適切かつ的確なコンサルティングを通じてお客さまに役立つ商品・サービスの提供に努めてまいります。

3. 重要な情報の分かりやすい提供

取組方針（アクションプラン）

- お客さまと担当者との金融商品やサービスの情報量の差異を踏まえ、特に商品のご提案にあたっては、ご投資金額や購入の可否を判断するための重要な情報をご理解いただきやすく、分かりやすいご提供に努めます。
- 金融商品やサービスのご提案にあたっては、同一の投資対象など類似する商品やサービス等を比較可能な方法により、分かりやすい情報提供を行います。
- お客さまへの情報提供やご説明にあたっては、タブレット端末を活用し、情報の迅速性や視覚的分かりやすくする工夫を行うことで、お客さまのご投資の判断をサポートいたします。
- お客さまにご提供する情報や説明資料は、正しくご理解いただけるよう、明確かつ平易に誠実な情報提供及び説明を行います。
- お客さまご自身がご投資を検討する際には投資信託選びをサポートするロボットアドバイザーツールもご提供しております。

[ご参考②] 重要情報シート

- お客さまがリスク性金融商品のお取引を新規に開始する際に、金融事業者としての銀行の情報提供することで、お客さまの取引を行う業者を選択する一助として「重要情報シート（金融事業者編）」を使用し、情報提供及び説明を行っております。
- お客さまが個別の金融商品をご購入する際に検討する金融商品の投資対象が同一であるなど類似する商品やサービスについて比較可能な方法として、「重要情報シート（個別商品編）」の使用、情報提供及び説明を行っております。

◆重要情報シート（金融事業者編）

◆重要情報シート（個別商品編）

[ご参考③] ファンドラインナップ

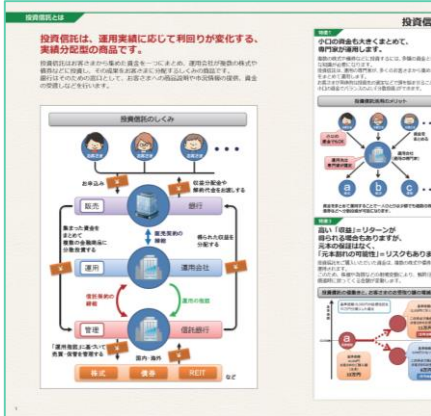
- 投資信託の取扱商品をまとめた「ファンドセレクト」は、投資信託をお取引いただくお客さま向けに定期的に改訂し最新の情報提供ツールとして活用しています。
- 「ファンドセレクト」は、投資信託の基本的な仕組みやご購入時から保有・ご解約までにご負担いただく手数料等の費用について分かりやすくご説明するためのツールとして活用しています。
- 投資対象や投資目的に分けて取扱商品を一覧表示していますので、お客さまの投資検討のツールとしてもご活用いただいております。

お客さま本位の業務運営方針に係る取組状況および成果指標について

◆投資信託ラインナップ冊子「ファンドセレクト」



▼投資信託の仕組み



▼取扱商品一覧

[ご参考④] ファンド・マーケット情報

- お客さまに情報提供を行う担当者ツールとして、モーニングスター社の「Wealth Advisors」を採用、全担当者に貸与し、マーケット情報や投資信託の運用状況の提示、説明に使用しています。
- 「Wealth Advisors」のシミュレーション機能により、積立や取崩し等を行った際に想定されるプランの提示が可能なことから、お客さまに分かりやすい説明を行うツールとして活用しております。
- 「Wealth Advisors」及びそのシミュレーション機能については、担当者向け研修のカリキュラムとして説明力の向上を図っています。

◆情報提供ツール「Wealth Advisors」



▼マーケット情報



▼ファンド詳細分析



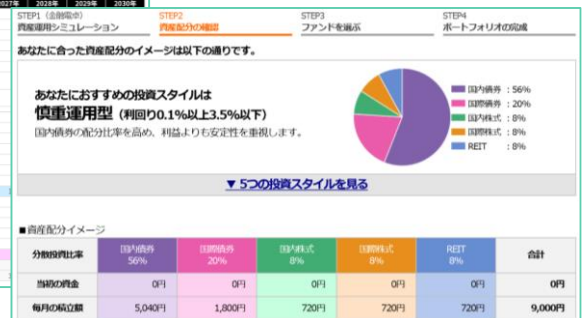
▼ライフイベント表



▼キャッシュフロー表

項目	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
収入	428	438	448	458	468	478
支出	178	188	198	208	218	228
純収入	250	250	250	250	250	250
資産運用収入	120	120	120	120	120	120
住宅ローン返済	138	138	138	138	138	138
教育費	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
総収入	388	388	388	388	388	388
総支出	338	338	338	338	338	338
純収入	50	50	50	50	50	50

▼資産運用シミュレーション



〔ご参考⑤〕 投資信託の基準価額分析ツール

- お客さまに情報提供を行う担当者ツールとして、ミンカブ・ジ・インフォノイド社の「Fund Analytics」を採用、全担当者に貸与し、投資信託の運用状況を基準価額ベースでの説明に使用しています。
- 本ツールは、投資信託の基準価額の変動を投資対象、為替、分配金、信託報酬等に分けて可視化することが可能です。
- 複数の投資信託を組合せることで、お客さまが保有する資産全体について、お客さまがのご理解を深めるためのご説明に活用します。

◆ミンカブ・ジ・インフォノイド「ファンドアナリティクス」



▼変動要因分析



▼ポートフォリオ分析



〔ご参考⑥〕 投資信託・基準価額一覧「Link Box」

- お客さまに銀行が取扱う投資信託の基準価額等の情報をご提供するツールで、銀行ホームページ、アプリから、ご確認いただくことが可能です。
- 本ツールにより、基準価額の推移や累積リターンの確認が出来るほか、ファンド比較等が可能です。
- お客さまが基準価額を確認する際に、ご投資の目的別に資産形成や運用を重視する「資産形成シリーズ」、資産活用を重視する「分配型シリーズ」、インターネットのみお取引可能な「インターネット専用」等に分類し、シンプルに基準価額等の情報を提供しております。

◆投資信託基準価額一覧「LinkBox」

▼投資信託基準価額情報



ファンド比較

・ファンド名をクリックすると詳細情報が閲覧できます。
・最大5ファンドまで比較ができます。比較したいファンドの□にチェックを入れ、比較をクリックしてください。
・お気に入りには20ファンドまで登録できます。

ファンド名	運用会社	基準価額 (2021/05/27)	前日比 (%)	1年	3年	5年	分配 (円)	再入	比較	マイファンド	お気に入り
東京海上・内資産バランスファンド (毎月決算型) (愛称: 円資産)	東京海上 AM	11,137円 (2021/05/23)	-0.01%	+2.82	-0.02	+2.21	30	0	☒	☒	☒
東京海上・内資産バランスファンド (年1回決算型) (愛称: 円資産)	東京海上 AM	11,137円 (2021/05/23)	-0.01%	+2.82	-0.02	+2.24	0	0	☒	☒	☒
資産3分法ファンド (不動産・債券・株式) (毎月分配型)	日興	4,027円 (2021/05/23)	+0.01%	+17.18	+23.90	+35.85	30	0	☒	☒	☒
資産3分法ファンド (不動産・債券・株式) (資産成長型)	日興	21,819円 (2021/05/23)	+0.01%	+17.27	+24.24	+36.16	10	0	☒	☒	☒
世界経済インデックスファンド	三井住友 VAM	28,005円 (2021/05/23)	+0.01%	+24.76	+27.08	+47.57	0	0	☒	☒	☒

◀ファンド比較

[ご参考⑦] 投資スタイル診断サービス

- お客さまの投資に対する考え方とスタンスに関する5つの質問に答えることでお客さまに適した投資信託をご提案するロボット・アドバイザー・ツールです。
- お客さまの投資スタイル診断の結果、適合するファンドについての情報が提示されるほか、投資シミュレーションを行うことが可能です。



4. 利益相反の適切な管理

取組方針（アクションプラン）

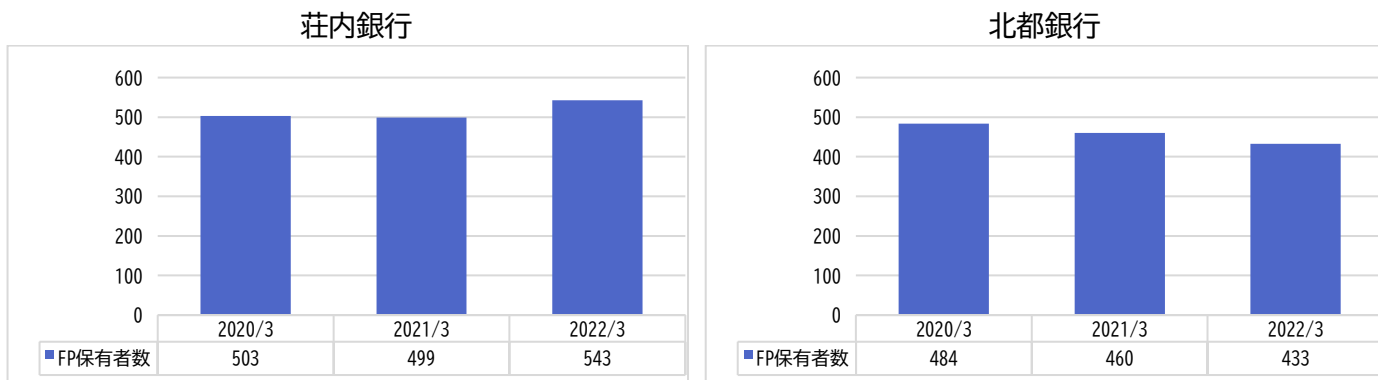
- 個別商品のお取引において、お客さまの利益と銀行の利益が反する可能性については、重要情報シートを用いて説明を行い、適切に管理いたします。
- 新商品導入時に利益相反に係るリスクチェックを行い、利益相反を適切に管理します。
- 乗換取引に係るモニタリングを行い、お客さまに不利益となる取引の発生がないか確認を行います。

5. 社内体制および社員教育の充実

取組方針（アクションプラン）

- FP 関連資格の取得推進および行内研修・ロールプレイング等の実施により、コンサルティング力の強化に向けた人材育成を行います。
- お客さまに対する分かりやすい情報提供を行うため、定期的に経済環境等の行内研修を行います。
- お客さまのニーズに応じた提案ができるよう業績評価体系の整備に取り組んでまいります。
- お客さまへのご提案やコンサルティングにおける幅広い知識を取得するため、FP 資格の取得を推奨し、担当者一人ひとりのスキル向上に努めています。

(1) FP（ファイナンシャルプランナー）資格の取得状況



【ご参考⑧】人材育成の取り組み

A) Web を活用した勉強会

お客さまに対しより良い提案、フォローアップを実施するため、投資信託の運用会社や生命保険会社の協力を得て、定期的に勉強会を実施しております。

研修テーマ	実施回数	延べ参加店舗
投資信託・マーケット関連	22回	378カ店
生命保険・相続贈与関連	17回	225カ店

B) 担当者育成のための研修

- 主に営業店の担当者のスキル向上のため、各種研修を実施しています。
 ➡営業店リーダー向け研修、担当者スキル別研修、東海東京証券営業員研修

(2) お客さまフォロー体制

- 投資信託及び一時払生命保険（特に外貨建）のリスク性金融商品については、残高や契約を有するお客さまに対し、日頃の営業活動をつうじてアフターフォローを随時実施しております。
- 上記アフターフォローに加えて、お客さまの年齢的要素及び投資環境の急変等に対応したアフターフォローを実施しております。
- お客さまの年齢的要素に基づくアフターフォローは、保有・契約するお客さまの年齢が75歳以上のお客さまに対して、期間を定めて「定期アフターフォロー」を実施しております。
- 投資環境の急変等に基づくアフターフォローは、米国の利上げやウクライナ情勢が急速に変化した3月中旬に期間を定めて「臨時アフターフォロー」を実施しております。

■定期アフターフォロー

対象顧客層	実施時期	対象先数
投資信託保有（75歳以上）	2021/8/9~9/3	2,800先
外貨建保険保有（75歳以上）	2022/1/24~2/25	2,804先

■臨時アフターフォロー

対象顧客層	実施時期	対象先数
投資信託保有（損益マイナス）	2022/3/15~4/15	1,262先

【ご参考⑨】業績評価体系整備の取組みについて

- お客さまのご意向やニーズにお応えするコンサルティング提案を実践するため、お客さまに選ばれる活動を促し、評価する業績評価体系の整備に取り組んでおります。
- お客さまの中長期の資産形成に資する積立投資の推進などの販売プロセスを評価するとともに、預かり資産残高に軸をおいた業績評価を実践しております。
- 販売手数料等の実績に偏重しない、販売体制の構築、業績評価を実践しております。

以上